



全国安全週間がスタートした7月1日に、田窪佐賀労働局長が北川副小学校校舎改築(建築)工事現場を安全パトロール!

全国安全週間がスタートした7月1日(火)、田窪局長以下佐賀労働局職員は、佐賀市木原で施工中の北川副小学校校舎改築(建築)工事現場の安全パトロールを実施しました。



現場事務所での挨拶状況



2階スラブ型枠組立現場でのパトロール状況

安全パトロールは、全国安全週間(7/1~7/7)の行事の一環として、県内事業場及び県民の労働災害防止活動に関する意識啓発を図るため、昨年労働災害が増加した建設業の工事現場を実施したもので、建築工事特有の災害である建物等からの墜落災害、移動式クレーンの転倒災害、型枠支保工等の崩壊による災害の対策状況のほか、熱中症予防対策などについて、施工現場の安全点検・指導を行いました。

また、当日は報道機関の取材を受け、この現場では足場組立解体時の墜落防止対策として、「手すり先行工法」足場を採用していること、熱中症予防対策としてWBGT(暑さ指数)計による管理、ミスト送風機設置など積極的な取り組みに感心し、今後、無事故無災害で工事が完了するよう安全管理の徹底をお願いしたほか、他の業種においても、各業種・作業に適応した安全管理の徹底を呼びかけました。